

 <p>ボーイスカウト尾張東地区広報誌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①各団の活動報告 ②各団のキャンプ報告 ③消防士さんへの手紙 ④2TC活動報告 		<p>第11号平成28年10月1日発行</p> <p>日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織拡充委員会 広報部会 編集・発行 編集責任者 中村 一徳</p>
--	--	--	---

◇ 「楽しかった春のしゃ営」

江南第3団 カブ隊 広瀬 生磨

3月19、20日に、こまき山にある、青年の家に行きました。

こまき山に、にん者をさがしながら、ハイキングに行きました。

ハイキングは、ついせきサインがあったが、あんまりおぼえていなくていなかったけど、ゴールまで行けました。

夕食のじゅんぴでアピタに行って、からあげの材料を買いに行きました。仲間としっしょにつくった夕飯はとてもおいしかったです。

みんなでお風呂に入ったら、楽しくて、みんなが家ぞくみたいなさぞいでした。

仲間はだいじだな、と思いました。



◇ 「春の舎営」

江南第3団 カブ隊 柴田 蓮紫

きょうは、こまき青年の家で舎営をしました。ハイキングでは、まず神社できつねの下のところの長さをはかりましたが、よくわからなかったです。おしろについたら、にんじゃをさがしました。だけど、いなかったです。それから山を下りておにぎりを食べました。

よるごはんは、自分たちでからあげをつく

りました。食べたらとてもおいしかったです。とても楽しかったです。



◇ 「にんじゃはみつけれなかった」

江南第3団 カブ隊 日比野 哉士

春の舎営で小牧青年の家に行きました。ハイキングでは、小牧山の中で冒険しました。

はじめ、たい長からちゅういすることの話があったのに、ぼくたちは、ついせきサインを見おとして、山の中へ行ってしまいました。とちゅうで、ふく長と出会い、ポイントを通っていませんでしたので、ふりだしにもどることとなりました。2回目はついせきサインに気をつけて歩きました。



さいごに小牧じょうの中にいるにんじゃを見つけるはずでしたが、ぼくたちはまちがえてはじめにおしろの中へ行ってしまったので、にんじゃにであうことはできませんでした。

ハイキングはかんたんだと思っていたけれど、かんたんではありませんでした。4月からはしかなり、うさぎが入ってくるので、いろいろなことに気をつけながらがんばります。

◇ 「伊那スキー訓練」

瀬戸第1団
ボーイ隊 奥島 知輝

三月十二日から一泊二日のスキー訓練を伊那スキーリゾートにて行いました。

二日とも天候に恵まれ、十分に訓練することができました。参加人数はカブ隊十二名、ボーイ隊二名、ベンチャー隊二名、ローバー隊三名でした。

訓練内容は、一日目に足をそろえて曲がったりする練習と遠くを見てすべる練習です。二日目は昨日とほぼ同じ事と、ストックの使い方もやりました。それと、二日目の十二時に進級テストがありました。

今年は暖冬の影響でスキー場の雪があまり良くはなかったため、少し滑りにくかったです。

宿では、宝探しやミニゲーム、スタンプなどを行いました。

今回の訓練では、スキーをあまりやることがない子たちが短時間で上手くなっていたので自分も負けずに頑張ることができました。

来年もこの気持ちを忘れずに楽しく滑ることができたらいいなと思いました。



◇ 「ガールスカウト合同キャンプ」

春日井第5団
カブ隊 橋本 綾

6月4・5日にガールスカウト40団と合同キャンプをしました。

朝、救急法の練習をしました。最初は本当だったら・・・とっていて怖かったけど、やらないと死んでしまうのでいっしょうけんめいやりました。ほんとうにこうなったら、この経験を生かして少しでも役に立ちたいです。

キャンプファイヤーでももたろうのスタンプをやりました。主役になってドキドキしたけど楽しく温かい子がいっぱいいて、面白くなってうれしかったです。でも、はずかしがるより次長としてガンバレたらな！と思いました。

翌日は、お母さんと妹がくるので楽しみにしていました。朝寝坊したけど、温かい言葉をかけてくれてうれしかったです。



◇ 「芋の苗植えと木工作」

春日井第2団 カブ隊
北澤 佳奈

5月22日に10団と合同で芋の苗植えと木工作をしました。

初めにやったぼうし送りゲームは人数が少なかつたし、大人が入って身長差があつたのでうまくいきませんでした。

次にハイキングをしました。私はオオバコとヘビイチゴとイチゴとシオカラトンボを見つけました。でも、どこにあつたのかが分らなかつたので、マップに書けませんでした。

次に芋の苗を2種類植えました。苗を植えるときに一定の方向に植えるのとうねをふまないように気を付けました。しゅうかくが楽

しみです。

最後に木工作はくぎを打つのが楽しかったです。のこぎりはなれたら上手になりました。今度鳥の巣箱をつけるのが楽しみです。



◇ 「春日井10団と合同集会」

春日井第2団 カブ隊
福澤 英二郎

ぼくは5月22日に合同集会でまず開会式をした後に、森の中にハイキングに行きました。ハイキングではわなげやキムスゲームなどいろいろなゲームができて楽しかったです。

そして、森を出るときのこが落ちていたのでもらいました。とてもちいさかったです。

次にいものなえを教えていただきながら植えました。いろいろな虫がいると思ったけれどいなかったので安心しました。

ハイキングが終わって無事に帰ると、巣箱を作りました。竹にビスを付けておみやげをいただきうれしかったです。

閉会式では国旗の当番だったけど、失敗せずできたのでとてもうれしかったです



◇ 熊本地震の募金活動

春日井第2団 カブ隊
石田 和也

ぼくはぼきん活動をして思ったことが二つあります。

一つ目は組のみんながだんだんまとまってきた感じがしたことです。最初のほうは、みんなバラバラで、一人が勝手に言って、そのあとみんながバラバラに続いて言うような感じだったけど、終りころになると、みんなが「せーの」でそろって言うようになりました。

二つ目は、いろいろな人がぼきんをしてくれたということです。通った時にしてくれた人や、少し行ってしまったけど、またもどってきてくれた人、ちがう組にもしてぼくたちの組にもしてくれた人、中には改札口まで行ったところで気づいて、走ってきてしてくれた人もいました。そして、ほとんどの人が、「がんばってね。」などの言葉を口にしてくれたので、とてもうれしくなりました。



◇ 「清掃奉仕との募金活動」

春日井第2団 カブ隊
神戸 優李

4月24日清掃奉仕と募金活動を行いました。清掃奉仕は高蔵寺駅でやりました。やっているときあめをいただきました。

「がんばってね」と声もかけてもらいました。僕はがんばろうと思いました。たばこの吸い殻などたくさんありました。ごみはベンチの下にもものすごくあり、たばこの入っていた箱もありました。

清掃が終わり募金を行う場所へ行きました。その日はものすごく暑かったので、少し動くだけで疲れしました。募金箱は自分で作りまし

た。おじいちゃんとおばあちゃんが九州の大分に住んでいるので、いっしょうけんめいやりました。すごくあせをかきました。

募金にたくさんの人が協力をしてくれてうれしかったです。春日井第2団全部で合わせて9万1224円集めました。たくさん集まってよかったです。



◇ 「雨にも負けず」

春日井第2団
ボーイ隊 青木 絢瑚

これは昨年カブ隊でのことです。

私は7月4日と5日に細野キャンプ場で一泊野営をしました。その日はみんなが合羽を着なくてはいけないほどたくさんの雨がふっていました。「せっかくのキャンプなのに雨の中でテントをはるのか…」と少しいやな気持ちでいました。そんな時、4組のみんなは少しもいやな顔をせず、がんばってテントをはっていました。雨の中ぬれた道具をもって作業していました。中には軍手もしないでいっしょうけんめいやっている子もいました。

みんなの様子を見たとき組長としてはずかしくなってきました。組長がそんな気持ちでいたらめいわくがかかると思い、すぐにテントをはるのを手伝いました。

みんなと協力すると雨だということを忘れるぐらい、気持ちがすっきりしてきました。

これからはどんな大変なことでも、みんな

といっしょにがんばりたいです。



◇ 「やだやだやだぜったい無理」

江南第1団 カブ隊
しか 武田 千奈

私は、はじめてキャンプファイヤーのときに火をつけるのをたのまれた。でも、あまり私は、やりたくなかった。なぜなら、はじめてやるし、火は熱いしこわかったからだ。それでも火をつける事になってしまった。

いよいよ、キャンプファイヤーのときになった。そのとき私は、きんちょうしすぎて急におなかがいたくなかったけどすぐなおった。

そして、木を持ってじゅんぴはできた。もうすぐわたしの木にも火がつけられる。ちょっとそんな事を思ってたうちに火がつけられた。火がついたら火の神様の方へどどん歩いて行った。みんながそろったら火の神に火をつけるゆるしをもらった。こんどは、火をつけるほうに歩いて行きみんなで火をつけた。火をつけたしゅんかんに私は、すごくほっとした。どうしてかとゆうと、火をつけおわたからだ。

こわかったけどまたやってみようと思った。



◇ 「なつのキャンプ」

江南第1団 カブ隊

うさぎ 大竹 ともゆき

ぼくは、カブのキャンプでがんばったことは、はんごうでごはんづくりです。

ごはんづくりはけむりは出るし、うちわで火が小さくなってきたらあおいで火を強くして2時間かけてつくりました。

あとはこん虫さいしゅうでカブト虫やクワガタはいませんでした。でもカミキリ虫なら1匹きつかまえられました。

それががんばって楽しかったことです。

そしてキャンプの山の中でくろいネコと会いました。



◇ 「夏休みのキャンプ」

江南第1団 カブ隊

うさぎ 西村 ゆうき

ぼくは、夏休みにみんなでキャンプに行つて、いろいろなかつどうをしました。とくにたのしかったのが、水遊びです。水ふうせんでゲームをしました。けど、みんなでやれてすごくおもしろかったです。

次は、こん虫さいしゅうです。こん虫さいしゅうは、すごくたのしかったけどよるの山道は、こわかったです。ほかにすごくでかいダムの上をさんぽしました。すごく高くて、こわかったです。後キャンプファイヤーをやつて、たいちょうたちにみんなでおどりました。かんぺきにおどれました。

かえるとき、山道をおりたときに雨がきゅうにふつてきて、びっくりしました。とちゅうでお店があったのでそこできゅうけいしてから、かえることにしました。また行きたいです。



◇ 「カブのキャンプ」

江南第1団 カブ隊

くま 西村 心美

私は、7月29日から、7月31日まで、三河湖の近くにある、バンガロー村でキャンプをしました。荷物がとても重かったです。朝の9時から、へやのてんけんがあったので、みんなで、ハイクに行っている時、マツボックリがあったので、それを、15個くらい、ひろって帰りました。ハイクは、つらかったけど、山の中で隊長たちが、おもしろい遊びや、ヤッホーとおもいきりさけんでいたの、すごくたのしかったです。それから、夜、7時30分にキャンプファイヤーがあったので、出し物の、ハッピーダンスをおどりました。まちがえたかもしれないので、最後まで、きんちょうしました。あとは、夜の昆虫さいしゅうで、LEDライトの近くに虫がいっぱいいたけど耳元で虫の飛んでいる音がきこえたので、こわかったです。このキャンプファイヤーで色々な思い出が作れたのでまた行きたいです。



◇ 「カブたいのキャンプ」

江南第1団 カブ隊
うさぎ 佐分 佑羽

二日目の夜のキャンプファイヤーがぼくは一番楽しかったです。おどりが楽しかったです。川遊びはさいしょこわかったけど、みんなで水かけをしているうちに楽しくなりました。でもちょっと川遊びはこわいです。ウィンナー作りははじめてたいけんでした。肉をふくろにつめていくのがむずかしかったけど、おもしろかったです。ウィンナー作りは家で道具がないので、作れませんが、もし道具があれば家でも作ってみたいです。流しそうめんは、楽しくて、そうめんをとったり、くだものみかんとパイナップルをとりました。また家でも流しそうめんをやりたいです。



◇ 「はじめてのキャンプ」

江南第1団 カブ隊
うさぎ 横山 春陽

わたしは、はじめてキャンプへ行きました。はじめは少しこわかったけど、楽しくてあっというまにキャンプが終わってしまいました。キャンプで一番楽しかったことは川遊びです。はじめはすべってばかりだったけど水の上に出ている岩につかまってうまく歩けました。思ったよりも川の流が早かったので少しびっくりしました。キャンプのさいごの日に、アブやアブの赤ちゃんが来てわたしい外みんな「ギャアギャア」さわいでいました。そこが少しおもしろかったです。次に楽しかったのは、流しそうめんです。とちゅうのトマト1こミニトマト1こをとれてとてもうれ

しかったです。ももやみかんもたくさんとれておいしかったです。キャンプファイヤーでダンスをおどるのが少しきんちょうしました。ただどえ顔でいつも通りにダンスをおどれたと思います。



◇ 「さかな掴み」

日進第1団 ビーバー隊
補助者 木村依子

初めての経験、さかな掴み。かなりじたばたしていた様子でしたが、結構真剣に挑戦していた姿が微笑ましかったです。

苦戦していた事もあり、チャレンジして出来た時の喜びは大きいと思います。

楽しい時間を過ごせて夏の良い思い出が出来ました!! ありがとうございます。



◇ 「チャレンジ章を完修して」

日進第1団 カブ隊
くま 眞野はるひ

私は、チャレンジ章を完修して、たいへんだったことがいくつかあります。

それはフィッシャーマンです。理由は魚拓をとるところです。私はつりに行って、あじをつりました。それを魚拓にしました。

ほかには、1か月記録しなくてはいけない気象学者や動物愛護などです。私は何日もさぼってしまったので、何回もやり直しました。それはとくに学校のある日は朝早くにおきないといけないので、できなくなったりしていました。やっと終わった時、すごくうれしかったです。

みんなに教えてもらったことや、リーダーやお父さんに教えてもらったことを使いながらやりました。本で調べることが多くあったので大変でした。でも、いろんなことをやったので、とても勉強になりました。これからも新しいことをやって、勉強したいです。



◇ 「ざりがににつり（6月26日）」

江南第3団 ビーバー隊
どいこうた

ぼくは、はじめてざりがににつりへいきました。

大きいざりがにをつりました。

でも、すいそうにいれるとちゅう、ざりがにをおとしてしまってはさみをあげておこってしまいました。

◇ 「にんじゃのれんしゅう（6月12日）」

江南第3団 カブ隊
伊藤大志

こうなんしちゅうおう公園でにんじゃのれんしゅうしてきました。むずかしかったのは、一本ばしをわたることでした。でも4ほでいけました。次やるときはかた足でやってみたいです。



◇ 「学校のHPに掲載されました」

江南第3団 副団委員長
椎葉浩志

団委員長が来校し生徒の夏休みの活動計画を報告しました。3年生の渡辺君は「宮小100周年記念でボーイスカウトを知りました。普段の活動はボランティア、キャンプ活動、サイクリング活動などへの参加です。ボーイスカウトに入り、助け合うことの大切さなどを知り、自分も精神的に強くなった気がします」と話してくれました。



◇ 「松川舎営」

春日井第8団 カブ隊
しか 鈴木大斗

ぼくは、長野県の松川へ舎営にいきました。一日目はお昼からウォークラリーをしました。途中の池では、ヤギに出会いました。夕方からはスタントの練習をしました。題は「みつやサイダーの冒険」。初めはまとまりが無く、できるか不安でしたが、何回も練習したので、まとまってきました。

夜は、外に出て、星座観察をしました。春日井よりも星がきれいに見えました。「夏の大三角」やアンタレスを見ることができました。2日目は果樹園に行き、ナシとリンゴ狩りをしました。思ったほどたくさんは食べられませんでした。でもとてもおいしかったです。

昼からは川遊びをしました。川の水は冷たかったけど、なれたら泳ぐこともできました。沢のぼりもしました。

夕方からはカレーライスづくりをしました。役割をきめて、全員で作りました。初めての飯ごう炊飯でしたが、上手にごはんを炊くことができて、よかったです。カレーもおいしかったです。

夜はスタントの発表をしました。動きは良かったけど、せりふがつまったりしたので、そこを直して、クリスマス会でまた発表したいと思いました。3日目は木工こうさくでルームプレートを作りました。一番大変だったのは、どのような形にするかを決めることでした。とっても楽しい夏季舎営でした。



◇ 「次長は面白い」

春日井第8団 カブ隊
しか 黒木乃絵

私は、次長として松川舎営に参加しました。2日目の夜、自分たちで考えた演劇をすることになりました。タイトルは「みつやサイダーの冒険」ときまり、部屋にもどってリハーサルをすることになりましたが、一部の男の子たちが、あまりやる気がないようで、しんけんさがみられませんでした。私は組長といっしょにどうやったらしんけんのリハーサルをしてくれるかを考えなければならぬので、大変でした。

演劇をする目的やなぜやる気がでないのか、について話をしました。男の子たちの意見も聞きました。聞いてストーリーも修正しました。そしたら、しんけんのリハーサルをするようになりました。本番ではせりふにつまったりするところもありましたが、隊長たちからは合格点をいただきました。とってもうれしかったです。どうしたら良くなるかをいろいろ考えることは大変面白いと思いました。



◇ 「合同舎営」

春日井第8団 カブ隊
しか 河野洋平

7月23、24日の1泊2日で御嵩吉祥寺において犬山第5団と合同舎営をしました。指示書をもらったのハイキング、作ってきたペットボトルロケットの競技会、夜の勇気ハイクをしました。

初めは知らない人ばかりで不安でしたが、すぐに友だちになれました。初めての座禅体験

では、正座の時間が長かったので足がしびれてしまいました。



◇ 「楽しかった松川の舎営」

春日井第8団 カブ隊
うさぎ 河合俊平

ぼくは、夏の舎営に初めて参加しました。松川では、ハイキングや星の観察、果物狩り（梨、りんご）、川遊び、カレー作り、演劇、木工作り（鉛筆立て、ルームプレート）、元善光寺見学といろいろなことができ、楽しかったです。一番楽しかったのは川あそびです。川ではおたまじゃくしやカニを捕まえました。ここで食べたかき氷もとてもおいしかったです。はじめてカレーライスを作りました。ぼくは米をといだり、玉ねぎを切る係りでした。とてもおいしいカレーライスでした。



◇ 「真清田神社見学」

春日井第8団
団委員 野村典孝

3月6日 一宮市にある真清田神社に社会見学に行きました。禰宜職の方から、神社の歴史を伺ったのち、神社参拝の仕方、その意味などを教えていただいたのち、神殿奥まで入れていただき、美しい正座のしかたを教えていただき、また、普段使っている「しゃく」などの道具の説明をしていただきました。普段はお正月と受験の時しか身近に感じない？神社ですが今日は、普段はなかなか入ることができない奥まで入れていただき、神社が日常大切な場所であることを感じたようでした。ボーイスカウトだからできることを体験した一日でした。



◇ 「2016夏季活動 in 富士山」

春日井第5団
カブ隊 鈴木元太

8月15日今日は宝永山へ登った。キリがかかり、しかいが悪く、ものすごくきゅうこうばいな坂を歩き、ついに登ったと思ったら、ゆるやかなカーブがあり、それを歩くと宝永山についた。そこから富士山がチラリと見えた。

そのあと下山し、活動して今にいたる。

このキャンプは、富士山という大きなかだいでしたが、おもしろかったです。

春日井第5団
カブ隊 鬼頭怜音

宝永山は、キリがすごくて前が見にくかったです。

とても大変だったところは、下る時に足がすべりやすくてこわかったです。

けれど、ちょうじょうが晴れていたの富士山の頂上が見えました、よかったです。

春日井第5団
カブ隊 鬼頭成一郎

さいしょにトンネルをぬけました、そこをとおりにぬけたら宝永第一火口です。晴れているとふんかしたところが見えたようです。でも今日はくもときりがじゃましてみえなかったです。

ちょうじょうについたら、すずきふくちょうがきのこのもりとアーモンドがはいったチョコをくれました。

ほかのボーイスカウトもきていました。

トイレにいきたくなったので急いで山をおり雲海荘につきました。

とてもつかれたけれどもたのしかったです。



◇ 「第12回日本アグーナリーの見学」

春日井第5団
カブ隊 橋本綾

行くまでにも時間がかかったけど、ついたら自然とわらっていた。

車いすの体験は、きんちょうしたけど、やってみたら楽しかった。

目が見えない人の体験は、すごくこわかった。でも本当に目が見えない人は、それ以上こわいんだと思った。

すいぎょうぎはおいしくて、かわがうどんのきじのようだ。モロヘイヤは見たことなかったけど、おいしかった。

ステージでは、歌を歌ったりえんそうしたりして、はくりよくがありおもしろかった。

アイロンプリントをやる場所は、やけどしそうでこわかったけど、しじしてくれる人の言うことを聞けばすごく楽しくできた。

最後にうちわに習字をするところへ行って、自分の「絆」と「光」を書いた。うまく書けてうれしかった。

行くときはすごくきんちょうしていたけど、温かい人たちのおかげで、きんちょうが一気にほぐれた。びっくりしたのは、ボーイスカウトがすごく多かったことです

春日井第5団
カブ隊 平田 陽太郎

どのブースもハラハラドキドキでまた行きたいと思いました。とくに、すその水ぎょうぎはみんなにひろめたいと思うほどおいしかった。

うちわはあまり上手にできななかったけれど、ちゃんとあおげばすずしくできました。



◇ 「カブ隊夏キャンプ」

春日井第5団
カブDL 鬼頭さおり

カブになってから、初の遠出での活動で、緊張もありワクワクもあり。楽しみにしていました。

早朝集合という事もあり、大移動が非常に辛かったです。でもアグーナリー会場が近くなるにつれて、霧も濃くなり気温も低くなっ

てきたので「山に来たぞ～」と嬉しくなりました。

日本・世界ジャンボリーなど、各地からのスカウトが集まるイベントは初めてだったので、不安もありましたが、会場のスタッフさん方が皆さんフレンドリーで安心しました。

ニイガワさん、オーストラリアのスカウトさん方とのプチ国際交流から始まり、車いす体験、盲目の方の体験も出来ました。まさにボーイスカウトのキャッチフレーズ「ここでしか出来ないことがある」が経験出来て、子供たちも嬉しそうにしていたので良かったです。

大きな怪我もなく、天候にも恵まれたので有意義な1日でした。



春日井第5団
カブ隊 橋本牧子

初めてアグーナリーに参加したが、日本全国のボーイスカウトや外国の人などがいて、その人との触れ合いができ、今日は良い1日が体験できた。

子供たちは特によろこんでいて、もう少し時間があれば多く体験が出来たと思われるが、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまった。

アグーナリーが終わり、富士山の方に向かうバスに乗りました。人が多くびっくりしたが、皆さん後ろのほうまで詰めてもらってありがたかった。富士山に行く人は皆さん思いやりがあり親切だ。

山に着いて山荘まで登ったが、体力不足のため息が上がってとてもつらかった。やはり年々体力がなくなっているのがしみじみ

わかった。

山荘につき食事となったが、山荘で食べるご飯はおいしい！

春日井第5団
カブ隊 原田直美

公共交通機関を使って富士まで来ることが初めてだったので、色々な電車・バスに乗る事が出来てとてもいい経験でした。

アグーナリーは色々な国の方がみえて、手話も国によって違うということを教えていただき良かったです。

体験ブースは、車いす体験とうちわ作りをして、日ごろ出来ないことを体験できました。

水餃子がとてもおいしかったです。モロヘイヤ入りの餃子の皮でモチモチしていて食べやすかったです。

アグーナリーから新5合目までバスで移動したのですが、思っていた以上に時間もかかったし、バス停から雲海荘までが霧がひどくて視界が悪く先が見えなかったのもあり、とても長く感じました。夕食のカレーはとてもおいしかったです。



◇ 「しょうぼうしさんへのお礼」

春日井第5団
ビーバー隊 波多野祥子

しょうぼうしさんへ

このまえはくるまにのせてくれてありがとうございました。とてもうれしかったです。

けむりのなかで、ともだちとひとをたすけだせて、うれしかったです。

だいすきです。またいきたいです。たのし

うれしーめっちゃくっちゃたのしかったです。

7月18日、カブ・ボーイ隊と献血の呼びかけ奉仕をした後、消防署で体験させてもらいました。解散まぎわに祥子ちゃんが隊長に何か言いたそうでしたが、後日手紙にしますとゆう事を書いてきた手紙です。



◇ 菊スカウトとしてのよき想いで (2TC)

春日井第2団 ボーイ隊

小木曾 太一

2TCで学んだ事、感じた事として、僕は23WSJという大きな大会を経験したこともあり少し油断していました。それは、いつもとは違う慣れない場所で、班長としていかに班員を動かせるのかという事でした。23WSJでは一番年下の班員だったので、2TCのような大きな大会での班長の大変さが分かっていませんでした。スケジュール通りに班員を動かすことができなかつたり、プログラムに少し間に合わなかつたりなど、たくさん反省点がありました。しかし、こうして大きな大会で班長を経験したことで、班長の大変さを実感することが出来ました。これからもこの経験を活かし、菊スカウトとして班員の模範となるようなスカウト活動をしていきたいと思ひます。閉会式での閉会宣言について、やはりステージからの景色は違ひました。とても緊張はしたけど、3000人の中から選ばれたことを誇りにミスなく大きな声で堂々と宣言する事が出

◇ 「2TCに参加しました」

春日井第5団

ボーイ隊 大森慶紀

僕は今回の2TCでたくさんのお話を学ぶことが出来ました。

ご飯は、隊付きのおかげでおいしく食べることが出来ました。

この大会でたくさんのお友達が出来ました。同じ編成隊のスカウトや他の県のおスカウト、韓国のおスカウトたちと仲良くなれて良かったです。

場内プログラムや場外プログラムが楽しかったです。一番楽しかったプログラムは場外の座禅体験と高山市街散策です。座禅体験では心を落ち着かせる事が出来、高山市街散策では、コロッケを食べたり、色々なお店を回ったりと楽しかったです。お風呂も気持ちよかったです。

閉会式は、WHITE JAMのライブや大花火が感激しました。

こうゆう事は体験すべきだと思うので、日本ジャンボリーが楽しみです。そして、日本ジャンボリーを楽しむためにスカウト技能を上げていきたいと思ひました。



来ました。ステージ上で思ったことは、自分が宣言したように、愛知、岐阜、三重、静岡、日本国内、さらに海外にも多くの同じ誓いを立てた仲間がいるんだという事を実感しました。

◇ 「韓国スカウトと過ごした3日間」

春日井第2団
佐藤良真 (BS)・優真 (VS)



2TCの後、3人の韓国スカウトが僕たちの家に来てくれました。家では一緒にご飯を食べてWiiUのゲームで遊びました。3人とも日本のアニメやゲームにすごく詳しくて盛り上がりました。一緒に買い物に行ったり食事に行ったり、夜はみんなで花火をしました。韓国スカウトたちはみんないい子で仲良くなれたし、とても楽しかったです。(佐藤良真)

私は、8月10日から12日の3日間、2TCに参加した3人の韓国のスカウトと交流するというとても良い経験をさせていただきました。

1日目の夜は私の家で一緒に食事をしました。会う前は言葉が通じるか不安でしたが、3人とも英語が話せたので日常会話をするには何の問題もありませんでした。日本と韓国、それぞれのことを話せて勉強になりました。

2日目は春日井第2団のベンチャー隊で、名古屋に遊びにつれていきました。好きなアニメのグッズを買ったり、名古屋城を見たりして、満喫していました。夜は韓国スカウトたちの希望の回転ずしで、とても楽しんでくれました。

3日目の最終日は、前日に遊んだベンチャー隊で空港に見送りに行きました。短い間でしたが楽しい思い出がたくさんあり、お別れの

時は寂しかったですが、みんなで笑顔で見送りました。

とても楽しく充実した3日間を過ごすことができました。それまではなかった発見がたくさんあり、貴重な経験になりました。またこういった機会があれば、是非関わらせていただきたいです。(佐藤優真)

◇ 「2TC SCナイト」

江南第3団
VS 長屋琉我

7日にフィルモント派遣から帰宅後し強行参加をした2TCが終わりました。



やはり自分が活動する拠点を広げるほど地域単位で仲間が増えていき、大きな大会で多くの再開をすることが出来るのだと改めて感じました。

8日に開催されたSCナイトでは舞台上でフィルモントの活動報告させていただき良い経験になりました。

◇ 「2TCに行って」

春日井第4団ボーイ隊
オオカミ班班長 二宮梨緒

私は8月5日から10日に行われた2TCでたくさん経験をしてきました。班長としての大きなキャンプでとても緊張していました。事前訓練から506隊にも慣れてきて不安と楽しみが半々でした。でも、そんな不安をふき飛ばしてくれるくらい班のみんなや506隊のみんなはノリが良く空気を和ませてくれました。

みんなが支えてくれたからこのキャンプは成功したんだと思います。

そして、私が一番心配していた雨。いつも楽しみにしている行事やキャンプは雨が降りま

す。しかし、今回は大雨になることもなく、カッパの出番がないくらい天気に恵まれました。その天気の中キャンプをできたことは最高の思い出です。

約3か月間、一緒に過ごした春日井5団と尾張旭1団のみんなともとても仲良くなることができ他団との交流をあまりしたことがない私にとってとても良い経験になりました。2TC で出会った人たちはみんなステキな人でした。またこのような経験ができるといいです。

◇ 「ボーイスカウトを振り返って」

春日井第4団ボーイ隊
イーグル班班長 和氣銀汰

ぼくが、ボーイスカウトを初めて知ったのは、ビーバーでもなくカブでもなくボーイから始めました。このころはまだボーイスカウトという存在すら知らずどういうことをやっているかもわからなかったです。そのなにもわからないぼくを支えてくれたのは、そのときの班長、リーダーそしてゆかいな班員がいてくれたおかげだと自分が班長となり、菊スカウトになっておもいかえました。自分が、菊スカウトになるにはその頃から支えてくださった方々のおかげだと思いました。ボーイスカウトでは、支えてくださる大人がいないと行えないし、また1人でキャンプするのはさみしいと思います。スカウトは友情にあつくそしてスカウトは感謝の心をもっていないといけません。なのでたくさんの方々がいる春日井第四団に感謝し、今度は自分が支える立場となってがんばっていきたいと思います。

◇ 「2TC に行って体験したこと」

春日井第4団ボーイ隊
コブラ班次長 大脇康志

班長として2TCに参加して、多くのことを学びました。最初は5泊6日の長期キャンプということで、上手に班員をまとめて、適切に指示していけるかが不安でしたが、班長会議で上班やリーダーなどから、アドバイスをしてもらい、班をまとめることができました。また場外プログラムでは、座禅を体験したり、高山市内を歩いて、地域の人と交

流をしたり、場内では、方言ビンゴ、ロープ結び競争や各SCサイトの人にサインをもらったりとさまざまなことに参加することができました。他にも他県の団と交流して、ゲームをやったりと2TCでは多くの人と交流することができました。

これからも班員をまとめて、楽しく活動をしていきたいと思いました。2TCで学んだことを隊の活動に活かしていきたいです。

◇ 「5分の法則」

時間と怪我の関係性について

日進第1団 BVS 隊長

杉浦 忠

三指

ビーバー隊の集会でアイススケートに出かけた時の事。毎年スケートをしているわけではないので、初体験のスカウトが多かった。準備体操や靴の準備もほぼ万端だったと思うが、この日は怪我が多かったので振り返ってみたいと思う。

見学を含め子ども9名、大人も8名という構成。スケートをした時間は10時～15時。

はじめはヨチヨチ歩きであったので大きく転ぶこともなかった。午前中滑るだけでほぼ全員の子が滑れるようになり、午後にはスケートリンク主催の教室にも参加した。

そんな中で怪我は子ども2人、大人1人。怪我の時間帯はそれぞれ（昼休憩の前）

（製氷車が製氷した直後）（スケートの終了直前）であった。

これは持論であるが「子どもの怪我をしやすい時間帯とサッカーの失点の時間帯は似ている」と思っている。

サッカーの試合で得失点が多い場面は「はじめの5分」「メンバーチェンジ後の5分」「おわりの5分」だそうだ。

理由としては「戦術やシステムに慣れない」「流れが変わる」「終盤に油断をする」などがあるだろう。

今回の集会では、はじめこそ怪我をしなかったが（昼の休憩前）（製氷機車が通った後の滑りやすい場面）（最後まで楽しく滑ってそのまま終わるはずの終盤の怪我）と正にサッカーの失点と時間が重なった。

注意喚起や適切な装備（特に大人）など至らなかつた点が無いわけではないが、隊長として反省しているのは「気のゆるみ」である。

特に最後の怪我は「もうこのまま楽しく終わるだろう」と思っていた所の怪我であったので反省の弁もない。

当日は3失点ではあるが「楽しかった」「滑ることができた」と大量得点であったのが救いである。

【おしらせ】

愛知県連盟のボーリング大会が平成29年1月14日に開催予定です。

それに伴い地区予選が11月27日に行われます。

皆さんの参加をお待ちしています。

地区ビーバーラリーが平成29年3月19日に春日井市内の落合公園で開催予定です。

【編集者より】

今回はたくさんの記事をいただきありがとうございました。

次号は、2月12日原稿締め切り、3月12日発行予定です。

各団共、秋から冬にかけていろいろな活動をされると思います、記事をお待ちしています。